

証券コード:4234



# 株主の皆様へ

第115期 第2四半期のご報告

2023年4月1日～2023年9月30日



株式会社 サンエー化研

株主の皆様には、日頃より格別のご支援とご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

第115期第2四半期連結累計期間(2023年4月1日~2023年9月30日)における当社グループを取り巻く経営環境と事業活動の概況並びに通期経営成績の見通しについてご報告させていただきます。



代表取締役社長 さくら だ たけ し 櫻田 武志



### 当第2四半期の経済情勢

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、実質GDPベースでコロナ危機前の水準を回復するなど堅調に推移しましたが、円安や、資源・エネルギー価格の高止まりにより物価上昇が継続する他、その影響で個人消費も伸び悩みなど、総じて厳しい状況となりました。



### 当社グループの業績状況

当社グループの業績概況といたしましては、液晶パネルの需要減少による機能性材料セグメントの光学用途での製品受注の減少が継続したことから売上高が減少しました。損益面では、原材料、電力燃料費の上昇に対する価格転嫁の進捗が遅れていること、生産数量減少による固定費負担の増加などにより、営業赤字となりました。

その結果、当社グループの経営成績は、売上高138億87百万円(前年同期比1.2%減)、営業損失1億21百万円(前年同期は営業損失1億47百万円)、経常利益27百万円(前年同期比1.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益8百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失18百万円)となりました。



## 今後の施策と通期業績見通し

当面は、機能性材料セグメントにおける光学用途向けの需要低迷と、インフレーションによるコスト高の継続が予想されますが、以下の施策により売上高の確保と収益性の改善に取り組んでまいります。

軽包装材料セグメントにつきましては、引き続き堅調な需要が見込まれる電子レンジ対応食品包材「レンジD<sub>o</sub>!」の拡販につとめてまいります。また、リサイクルしやすいモノマテリアルタイプのエアー緩衝材、バイオマス由来のポリエチレンを配合した医薬錠剤包装用PTPシート「Medi Green」、紙を主体とする包材など、環境配慮型製品の開発を進めてまいります。

産業資材セグメントにつきましては、回復基調にある自動車分野向け製品の拡販、環境配慮型製品の開発と拡販につとめてまいります。また、セグメント黒字化を早期に実現するため、価格改定を推し進めるとともに、今春当社に営業部門を統合した連結子会社シノムラ化学工業株式会社との間で、生産機能についても統合を進め、更なる効率化を図ります。

機能性材料セグメントにつきましては、光学用途向けの受注回復に向けた拡販活動を行うとともに、非光学用途向け「サニテクト」の拡販にもつとめてまいります。また、価格改定活動を追加実施するとともに、一部設備の統廃合による効率化も行い、早期の黒字化を目指します。

サステナビリティに関する諸課題に対しては、従来から継続している環境配慮型製品の開発と拡販に加え、生産工程等での省エネ活動による温室効果ガスの排出量削減、

掛川エリアの拠点（R&Dセンター、掛川工場、掛川工場WEST）での太陽光発電（PPA）、CO<sub>2</sub>フリー電力などの新エネルギーの導入、本社事務フロアでのLED照明の導入にも取り組んでおります。また、代表取締役社長を委員長とする「サステナビリティ推進委員会」により、「当社グループ全体の二酸化炭素排出量（電気・燃料）」をモニタリングするとともに当社グループでの脱炭素目標と施策について検討を進めてまいります。

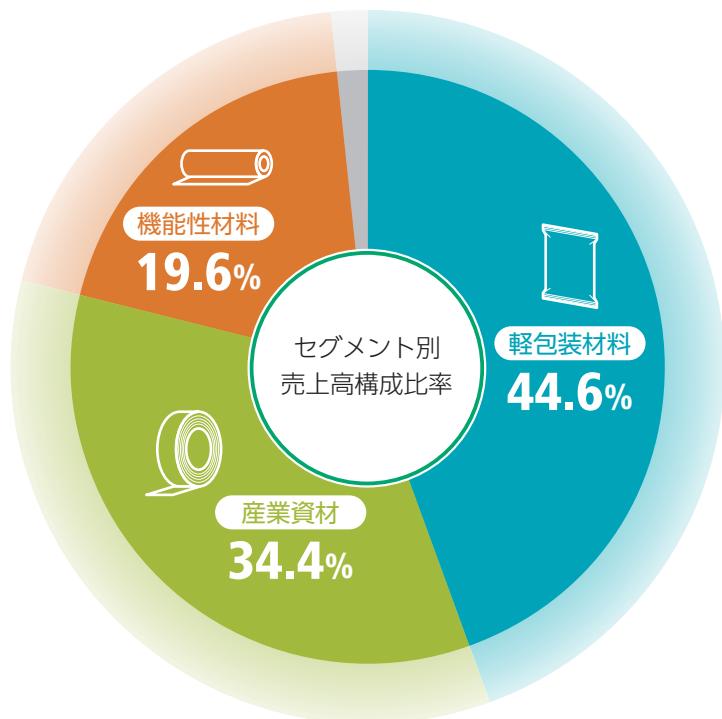
これらの施策により、当社グループの通期業績見通しは、売上高294億円（軽包装材料123億円、産業資材103億50百万円、機能性材料64億50百万円）（前期比5.5%増）、営業利益1億50百万円（前期は営業損失4億68百万円）、経常利益3億円（前期は経常損失2億36百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益8億70百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失1億98百万円）を見込んでおります。

2023年12月

### 第2四半期決算ハイライト

売上高	➤	<b>138億87</b> 百万円 (前年同期比 1.2%減)
営業損失	➤	<b>△1億21</b> 百万円 (前年同期は1億47百万円の損失)
経常利益	➤	<b>27</b> 百万円 (前年同期比 1.3%減)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	➤	<b>8</b> 百万円 (前年同期は18百万円の損失)

## セグメント別のご報告



### ■ セグメント別売上高

売上高	138億87百万円
軽包装材料	61億94百万円
産業資材	47億78百万円
機能性材料	27億24百万円



### 軽包装材料



#### 事業内容

食品、医薬品、医療器具、日用品、電子部品、精密機器等の包装材料の製造・販売を行っています。市場ニーズを的確にとらえ、内容物に最も適したパッケージを供給するとともに、自然環境にやさしい包材の開発にも取り組んでいます。

#### 当第2四半期連結累計期間の概況

食品用包材は、食品価格の上昇による消費低迷から消費者の食品購買数量が落ちており受注が減少。一方、子会社においてOEM案件の受託により生産数量が増加したことや価格転嫁が進んだことから増収。

日用品等の包材は、洗剤用パウチの受注減少から減収。

医薬品・医療用包材は、医療品の販売数量が減少傾向にあることから、医薬品用包材の受注数量が減少するも、価格転嫁の進行もあり増収。

#### 売上高の推移

(単位:百万円)

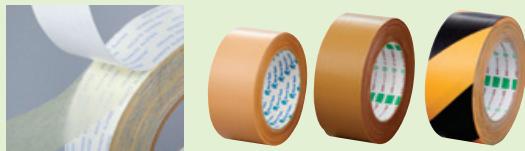
■ 第2四半期累計  
■ 通期



※第113期売上高は、「収益認識に関する会計基準」が適用されたことにより、適用前の従来基準による算定額よりも1,331百万円減少しております。



## 産業資材



## 事業内容

粘着テープ・ラベル等の基材、剥離紙の製造・販売を行っています。近年は、粘着テープやラベルの用途が多様化・高度化しており、こうした要求に応え、長年にわたり培ってきたラミネート技術や離型剤塗工技術を駆使し、新製品開発を進めています。

## 当第2四半期連結累計期間の概況

物価高に伴う消費低迷から梱包用テープの需要が減少していることや、海外テープの流入により国内テープメーカーの販売数量が減少し、紙・布へのラミネート製品は、受注が減少。

剥離紙は、価格転嫁進行により売上が若干増加するも、自動車関連用途向けや建材関連用途向けの販売数量の回復が遅れている。

## 売上高の推移

(単位:百万円)



※第113期売上高は、「収益認識に関する会計基準」が適用されたことにより、適用前の従来基準による算定額よりも2,071百万円減少しております。



## 機能性材料



## 事業内容

粘着塗工タイプ、2層押し出しタイプ、精密塗工タイプに分類される各種表面保護フィルムの製造・販売を行っています。フラットパネルディスプレイ向け偏光板や輝度向上フィルム等の光学用途から建材用途に至るまで、様々な部材を加工時・輸送時・保管時のキズ・ホコリ・汚染から保護します。

## 当第2四半期連結累計期間の概況

テレビ・パソコン・スマートフォン向け液晶パネルの販売数量低迷が長期化しており、ディスプレイ全般の需要を押し下げていることから、光学用途の表面保護フィルムの受注量は引き続き減少。

一方で一般用途のオレフィン系粘着加工品については前年同期並みの受注数量で推移。

## 売上高の推移

(単位:百万円)



※第113期売上高は、「収益認識に関する会計基準」が適用されたことにより、適用前の従来基準による算定額よりも18百万円減少しております。

## 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 2023年3月31日現在	当第2四半期末 2023年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	22,408	22,065
現金及び預金	6,262	6,357
売上債権	10,883	10,744
棚卸資産	4,987	4,733
その他	274	230
固定資産	13,202	13,862
有形固定資産	6,835	6,632
無形固定資産	40	37
投資その他の資産	6,327	7,192
<b>資産合計</b>	<b>35,611</b>	<b>35,928</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	12,700	12,626
仕入債務	6,920	6,817
短期借入金	3,630	3,650
その他	2,149	2,159
固定負債	2,431	2,403
長期借入金	883	648
その他	1,548	1,755
<b>負債合計</b>	<b>15,132</b>	<b>15,030</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	17,739	17,576
資本金	2,176	2,176
資本剰余金	2,238	2,238
利益剰余金	13,558	13,469
自己株式	△232	△307
その他	2,739	3,320
<b>純資産合計</b>	<b>20,479</b>	<b>20,897</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>35,611</b>	<b>35,928</b>

## 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期(累計) 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	当第2四半期(累計) 2023年4月1日から 2023年9月30日まで
売上高	14,059	13,887
売上原価	12,679	12,495
<b>売上総利益</b>	<b>1,380</b>	<b>1,391</b>
販売費及び一般管理費	1,527	1,513
<b>営業損失</b>	<b>△147</b>	<b>△121</b>
営業外収益	192	165
営業外費用	17	16
<b>経常利益</b>	<b>27</b>	<b>27</b>
特別損失	58	3
<b>税金等調整前四半期純利益(△は損失)</b>	<b>△30</b>	<b>24</b>
法人税、住民税及び事業税	15	35
法人税等調整額	△18	△22
非支配株主に帰属する四半期純利益(△は損失)	△9	3
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益(△は損失)</b>	<b>△18</b>	<b>8</b>

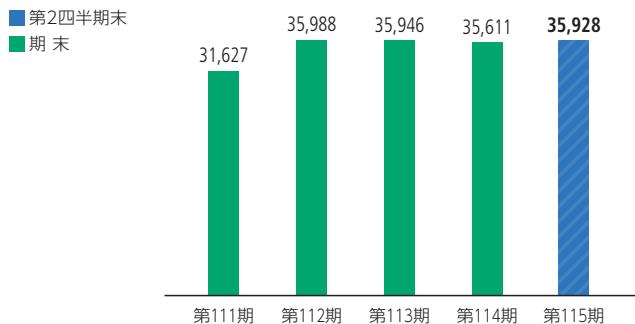
## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期(累計) 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	当第2四半期(累計) 2023年4月1日から 2023年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△61	729
投資活動によるキャッシュ・フロー	△239	△211
財務活動によるキャッシュ・フロー	△64	△402
現金及び現金同等物に係る換算差額	78	6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△286	122
現金及び現金同等物の期首残高	7,185	6,148
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,899	6,270

## 総資産

(単位:百万円)



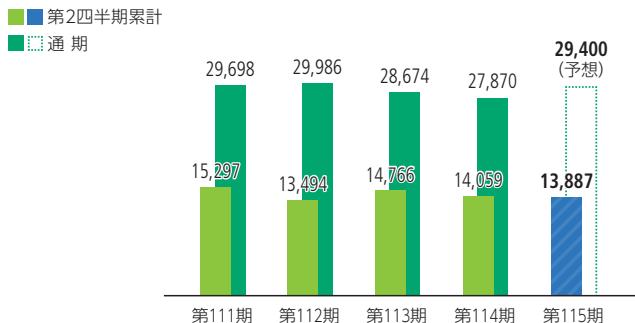
## 純資産 / 自己資本比率

(単位:百万円/%)



## 売上高

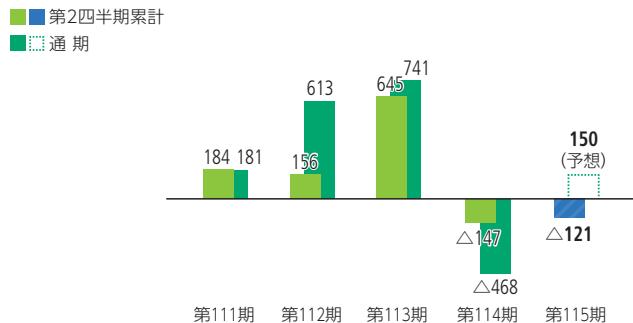
(単位:百万円)



※第113期売上高は、「収益認識に関する会計基準」が適用されたことにより、適用前の従来基準による算定額よりも3,436百万円減少しております。

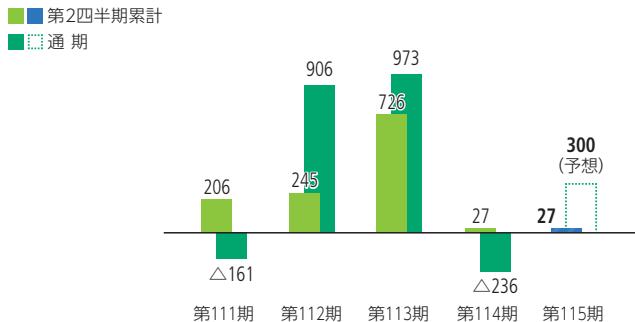
## 営業利益

(単位:百万円)



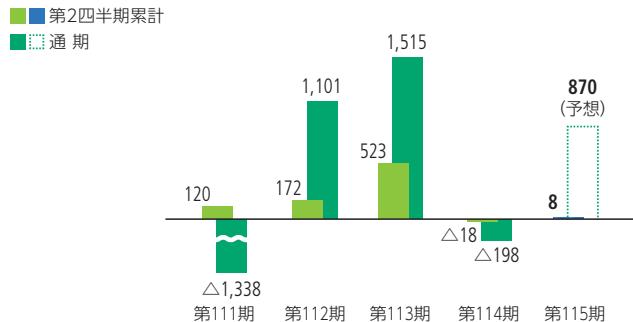
## 経常利益

(単位:百万円)



## 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(単位:百万円)



# 特集 [第1回] サンエー化研の技術

## ラミネート技術

### ■ ラミネート技術とは

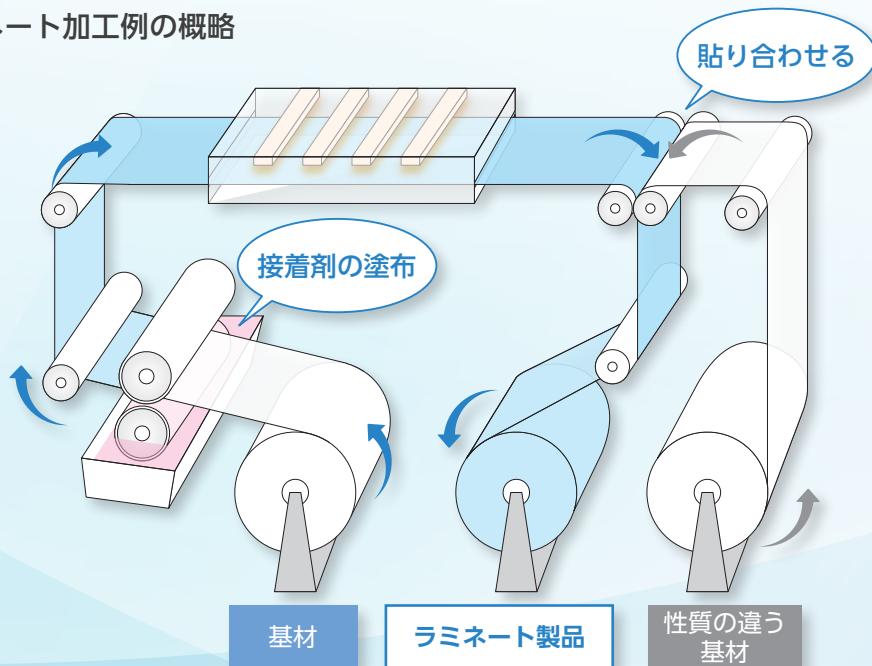
原紙、プラスチックフィルム、金属箔などの基材を積層する技術となります。

当社では、これら基材同士を接着剤やポリエチレンなどの熱可塑性樹脂で貼り合わせたり、基材に熱可塑性樹脂を溶かしたものを押出して薄い膜を形成させたりして、各基材で不足している機能を補い新たな価値を付与しています。

当社の製品としては、テープ用基材や食品包装材、医療・医薬品包装材、精密機器包装材となります。

※熱可塑性樹脂：加熱すると溶けて軟化し、冷却すると固化する性質のある樹脂。

### ■ ラミネート加工例の概略



## ラミネート技術の活用例

サンシール



確かな密封性で安全性を保ちながらも簡単に開封できる扱いやすさを両立させた食品パッケージ。食品安全性に適したシーラント材を採用、国内外の食品衛生規格試験にも合格し、高い安全性が立証されております。

レンジDo!



完全密封包装のまま電子レンジで加熱調理ができ、安全かつ衛生的で便利なパッケージ。袋ごと加熱する包装形態は数多くありますが、当社はこの方式を業界に先駆けて開発しました。

スパウト付パウチ



再封性、圧搾性が備ったパウチ容器。低粘度から高粘度まで幅広い中身に使用でき、必要な量を使って、残りはキャップを閉めて保存ができます。軽量で省スペース、環境にやさしいのも特徴です。

布テープ



粘着テープの定番製品である布テープ。当社独自のラミネート技術により、レーヨンをはじめ、ポリエステルや綿など、様々な織物に対して、テープ用基材として加工が可能です。

zoom in

当社の製品と事業活動をより多くの方々  
に知っていただくため、今年度も様々な  
展示会やイベントに参加しました。

### 「インターフェックス ジャパン －[医薬品][化粧品] 製造展」に出展



2023年7月5日(水)～7月7日(金)、東京ビッグサイトにて開催された第25回「インターフェックス ジャパン」[医薬品][化粧品]製造展」に双日プラネット株式会社様と共同で出展いたしました。当日は『テクニフィルム』を中心に出展いたしました。

#### 医薬品包装材「テクニフィルム」



高い防湿性・透明性に優れたPCTFEフィルムを使用しています。薬は一錠ごとに包装するため、密封性や取り出しやすさ・分割性・透視性、そして携帯性などの利便性が求められており、医薬品業界で注目を集めています。



▲詳細はこちら

## 配当金について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけており、将来の事業展開と企業体質の強化に備えて必要な内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としています。

この方針の下、第115期(2024年3月期)の中間配当金につきましては、連結経営成績及び財政状況等を総合的に勘案し、1株当たり9円とすることといたしました。

### 1株当たり配当金 (中間配当)

(単位:円)



※創立80周年の記念配当2.5円を含む。

## IR カレンダー



## 株式の状況

発行可能株式総数	45,000,000株
発行済株式の総数	11,320,000株
株主数	2,815名

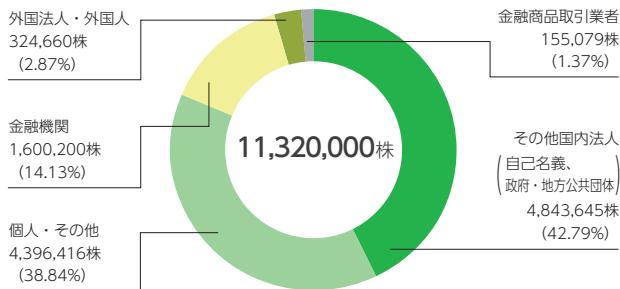
## 大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
新生紙パルプ商事株式会社	1,812,200	17.14
昭和パックス株式会社	1,244,200	11.77
サンエー化研社員持株会	397,300	3.75
株式会社三菱UFJ銀行	310,000	2.93
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・昭和パックス株式会社口)	300,000	2.83
みずほ信託銀行株式会社 (退職給付信託 昭和パックス株式会社口)	300,000	2.83
株式会社みずほ銀行	200,000	1.89
山田美千代	121,000	1.14
DEUTSCHE BANK AG, SINGAPORE A/C (TREATY) 4600601	118,000	1.11
鈴木靖子	117,000	1.10

1.当社は、自己株式を751,045株保有しておりますが、上記の大株主から除いております。

2.持株比率は自己株式(751,045株)を控除して計算しております。

## 所有者別株式分布状況



## 会社概要

商号	株式会社サンエー化研
本社所在地	東京都中央区日本橋本町1-7-4
事業所	関西支店、名古屋営業所、台北営業所 静岡工場、袋井工場、掛川工場、掛川工場WEST、 奈良工場 R&Dセンター
設立	1942年9月
資本金	21億76百万円
従業員数	495名
主な事業内容	紙、プラスチック、金属箔等を主原材料とする 軽包装材料、剥離紙、粘着テープ基材、表面保護 フィルム等、包装材料関連製品の製造及び販売

## 連結子会社

東邦樹脂工業株式会社	本社・工場／栃木県下都賀郡野木町野木148
シノムラ化学工業株式会社	本社・工場／静岡県袋井市国本291
灿櫻(上海)商貿有限公司	中国上海市長寧区虹橋路

## 役員

代表取締役会長	山本明広	社外取締役	野口隆一
代表取締役社長	櫻田武志	社外取締役	宮本貞彦
取締役	芝彦尚	常勤監査役	佐藤誠一
取締役	山本元	社外監査役	井上眞樹夫
		社外監査役	湯口毅

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日	3月31日(期末配当) 9月30日(中間配当)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
ご連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料) 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東証スタンダード市場
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="https://www.sun-a-kaken.co.jp">https://www.sun-a-kaken.co.jp</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします)

### 株主事務に関するお問い合わせ

- (1)住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取請求等のお申出先について  
証券会社に口座を開設されている株主様は、当該証券会社にお問い合わせください。  
証券会社に口座がないため特別口座に記録されている株主様は、上記の特別口座の口座管理機関(兼株主名簿管理人)である、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。
- (2)払渡期間経過後のお取り扱い  
配当金領収証の裏面に受取方法を指定し、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部までご郵送いただくか、同銀行全国各支店窓口にてお受け取りください。

## ホームページのご案内

当社の詳細なIR情報は、ホームページをご覧ください。  
当社ホームページの〈IR情報〉では、詳細な情報を掲載しております。  
また新製品情報をはじめ、業務内容や最新の企業情報、展示会情報等についてもご覧いただけます。



URL▶<https://www.sun-a-kaken.co.jp>

## 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(QUOカードPay500円)を進呈させていただきます

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<https://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 4234

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



スマートフォン

右のQRコードをカメラで読み取れば、スマートフォンからもアクセスできます。  
※QRコードは株式会社デンソーウェアの登録商標です。



※本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」  
MAIL: [info@e-kabunushi.com](mailto:info@e-kabunushi.com)

## 株式会社 サンエー化研

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-7-4  
TEL 03-3241-5701 FAX 03-3241-5719



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

